

---

laugh man

まこと

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

l a u g h m a n

### 【Nコード】

N 4 7 8 3 Y

### 【作者名】

まこと

### 【あらすじ】

笑うことしかできなくなった男の話。

ジャックマンは笑っていた。

怒ることも泣くこともせず笑っていた。

悲しいときも腹がたったときも、最愛の人との別れのときも笑っていた。

ジャックマンは普通の子供だった。

運動はあまり得意ではなかったが、本を読むのは好きだった。

友達は少なかったが本を読んでいればそれでよかったのだ。

そんなジャックマンも恋をした。

ジャックマンは普通の青年だった。

多くのときを一人の女と過ごした。

水族館で、動物園で、美術館で、プラネタリウムで、夜の公園で、お互いの家で様々な時間を過ごした。

多くの愛を語りあった。

幸せだった。

ジャックマンは普通の男だった。

最愛の女と結婚し、女は男の子を生んだ。

男の子はすくすくと育っていった。

ふたりから多くの愛情をもらい元気な少年に育った。

少年は幸せだった。

少年は運動が好きで、毎日庭でボールを蹴っていた。

女はいつもそれを眺めていた。

はじめはほとんど飛ばなかったボールも、日に日に遠くへ飛びようようになっていった。

ボールはときに庭の柵を越え、道路に飛びだした。

そのたびに女は道路へボールを取りにいった。

少年はいつも庭でそれを眺めていた。

ある日、女は庭にいなかった。

少年はいつものようにボールを蹴った。

そしていつものように道路へボールが転がった。

今日は女がいない。

少年は一人で道路へでた。

ボールだけをみて歩いた。

クラクシヨンとブレーキの音が大きく響き渡った。

女はあわてて家の外へむかったがいつもの少年の姿はそこになかった。

少年は不幸だった。

ふたりは少年の葬儀をあげた。

女は延々と泣いた。

ジャックマンもとても悲しんだ。

しかし涙はこぼれなかった。

ジャックマンは大きな声で笑った。

その場にいた人々は、ジャックマンを哀れんだ。

中には蔑む人もいた。

それ以降ジャックマンに近づく人はいなかった。

ジャックマンは笑う男だった。

少年の葬儀以後、ジャックマンは外に出ることは無くなった。

自室に籠りきりになった。

悲しみが膨らめば膨らむほど、笑いがこみ上げてきて止まらなくな  
った。

自分はおかしい人間だ。

ジャックマンはそう思った。

そして外の世界との連絡を絶った。

ただひとつ、女が存在をのぞいて。

女はジャックマンにとって唯一の光だった。  
なにも言わず共に過ごしてくれた。

しかし、女は弱っていった。

少年の死、そして自分の笑いが原因だろうとジャックマンは考えた。  
ジャックマンは女を労わった。

しかし女は日に日に弱っていった。

ついには、ベッドの上から動けなくなった。

ジャックマンは悲しみ、女の横で一日中笑い続けたこともあった。  
女はうつろな目でそれを眺め、微笑んだ。

ある朝、女は死んだ。

ジャックマンはそれから一週間笑い続け、とうとう声を枯らした。  
ジャックマンは旅に出ることを決めた。

誰も知らないところへ行こう。

少ない荷物とともに電車に乗り、飛行機に乗り、船に乗り、車に乗り、どこまでも旅をした。

ある日、ジャックマンは郊外の小さな古ぼけた小屋にいた。

数十年誰も足を踏み入れることのなかったであろう小屋の中で横になっていた。

長旅で疲れた体は動くことを拒んだ。

ジャックマンは微笑んだ。

もう笑うこともできなかったが、残り少ない力で微笑んだ。

それは悲しみなのか喜びなのかはわからない。

なぜなら彼はもう微笑むことさえできないのだから。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4783y/>

---

laugh man

2011年11月17日18時30分発行